

第1回 浜田港港湾脱炭素化推進協議会 開催概要

浜田港におけるカーボンニュートラルポートの形成に向け、有識者、港湾関係事業者、行政機関などで構成する「浜田港港湾脱炭素化推進協議会」を立ち上げ、第1回協議会を開催しました。
2050年脱炭素社会の実現を目指すため、協議会を通じて議論し、港湾脱炭素化推進計画の策定に向けた検討を進めています。

1. 日 時：令和6年3月11日（月） 13：30～15：00
2. 場 所：島根県浜田合同庁舎 大会議室
3. 構 成 員：別紙1 参照
4. 議 事：別紙2 参照
5. 議事概要
 - ・今回、港湾法第50条の3に基づく法定協議会として、「浜田港港湾脱炭素化推進協議会」の立ち上げを行い、会長を島根県立大学 豊田准教授に決定した。
 - ・港湾脱炭素化推進計画の内、基本事項（浜田港の概要・計画期間・目標年次）、CO₂ 排出量推計、対象企業に行ったアンケート・ヒアリング調査の取りまとめ結果、港湾脱炭素化促進事業の方向性、今後の進め方について、事務局から説明を行った。
 - ・事務局からの説明に対し、協議会構成員、オブザーバーとの意見交換を行った。
6. 主な意見
 - ・自社の CO₂ 排出量がわからない状態では削減対策も検討できないため、CO₂ 排出量については各企業にフィードバックしていただきたい。
 - ・浜田港に隣接する浜田漁港の水産加工会社等は CO₂ 排出量の推計対象としないのか。削減効果を高める（排出量をより多く削減する）ためには港湾・漁港一体として、浜田漁港の排出量も計上すべきと考える。
 - ・浜田港のような小規模な港湾では、大規模な港湾を参考にしたうえで、浜田港に即した計画づくりが必要になると考える。
 - ・取組の方向性として、建物や荷役機械の省エネ・脱炭素化を謳っているが、これらの取組は補助を活用しないと実現は難しい。
 - ・港湾ターミナル内が占める割合は小さいため、ターミナル内の企業において、荷役機械等を電化等の脱炭素化しても、削減量はわずかとなる。ターミナル外の CO₂ 排出量をどのように削減していくのが重要となる。
 - ・本計画では、できることから着手し、PDCA を回しながら進めていくものとする。方向性の道標となるような先進事例の情報が必要となる。国から参考となるような情報を提供していただきたい。

